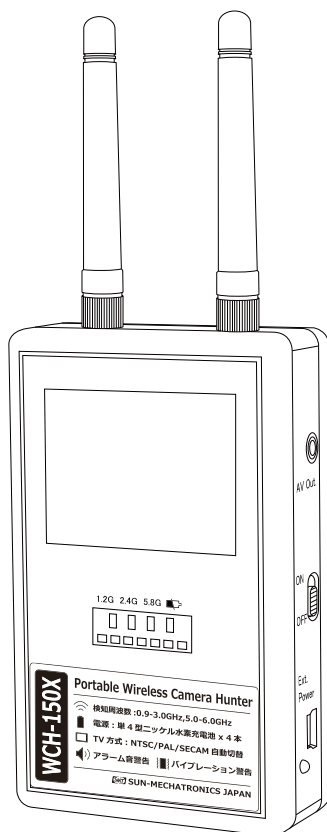


無線式盗撮カメラ発見機

WCH-150X

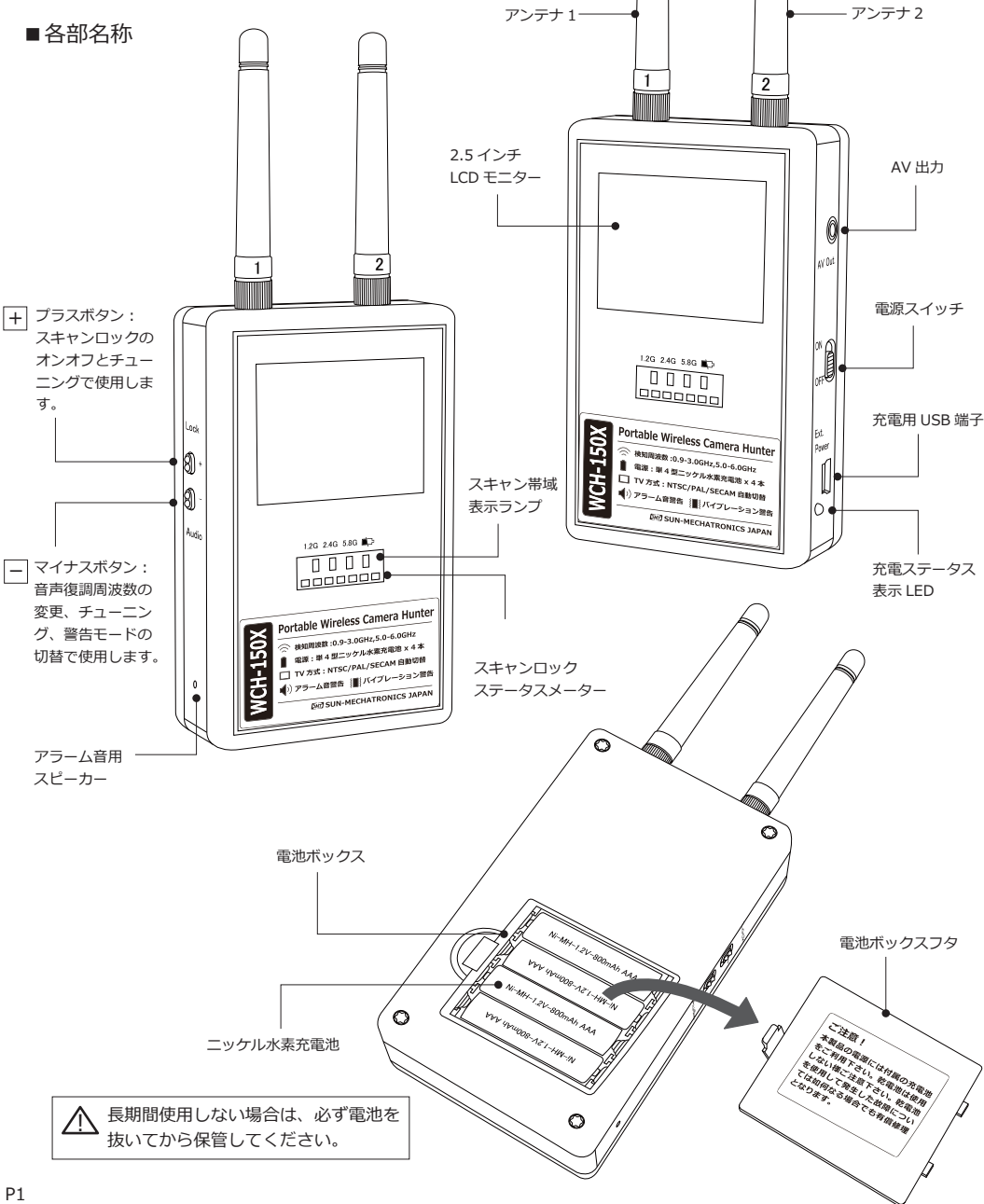


目次

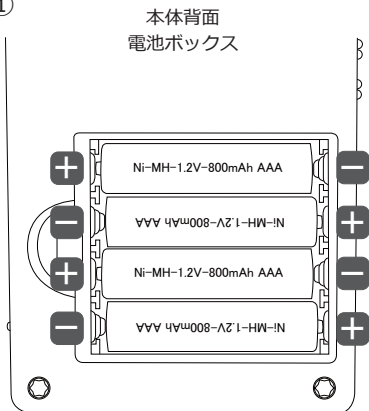
各部名称	・ P1	映像を出力する	・ P4
充電する	・ P2	警告モード設定	・ P5
アンテナの取付	・ P2	音声復調機能	・ P5
盗撮電波を受信する	・ P3 ~ 4	WCH-150X 製品仕様	・ P6

WCH-150X は 0.9GHz から 6.0GHz の広帯域をカバーする無線式盗撮カメラ発見機です。盗撮カメラの電波を受信すると警告音とパイプでお知らせするとともに、モニターに映像を表示します。操作系は最小限のスイッチとボタンで構成。どなたでも簡単にお使い頂ける簡易操作設計です。

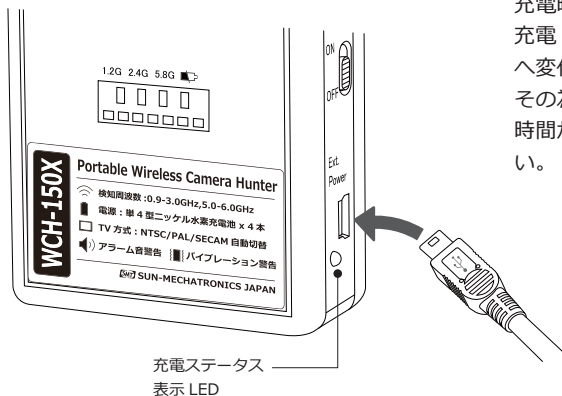
■各部名称



図①




図②




■充電する

まず最初に、以下手順にそって充電を行ってください。

1. 本体の背面の電池ボックスに付属の単四型ニッケル水素充電電池 4 本を入れます。電池ボックスの底に「+」と「-」の表示がありますので、それに従って電池を入れて下さい(図①参照)。同じニッケル水素電池のエネループもお使いいただけます (Panasonic 製品)。
2. 同梱の USB ケーブルと USB AC アダプターを使い充電します。USB ケーブルの一方を WCH-150X の USB 充電端子へ (図②参照)、もう一方を USB AC アダプターに接続します。USB AC アダプターをコンセントに挿し込みます。
3. 通電すると、充電ステータス表示 LED が点灯します。充電容量が少なくなっている場合は赤点灯、充電容量が 50%程度になると緑点灯へ変化します。緑点灯へ移行する際、一時的に LED が点滅します。充電時間は概ね 5 時間程度です。WCH-150X では、充電 LED が消灯しない仕様となっています (緑点灯へ変化すると緩やかな充電スピードで充電を続けます)。その為、充電をする際は開始時間を確認し、充電所要時間が経過した後、USB ケーブルを取り外してください。

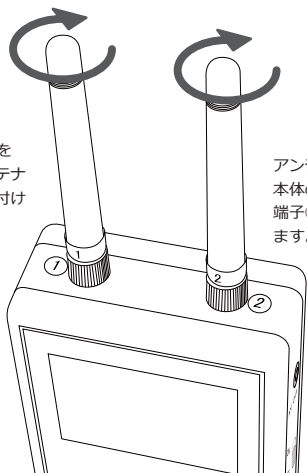
 乾電池は使用出来ません。乾電池の使用を原因とする故障は、いかなる場合も有償修理となります。

 充電したまま WCH-150X を放置する事は絶対にお止めください。


■アンテナの取付

WCH-150X では、アンテナを 2 本使用します。アンテナ 1 を本体のアンテナ端子 1 へ、アンテナ 2 を本体のアンテナ端子 2 へそれぞれ接続してください。

アンテナ 1 を本体のアンテナ端子①へ取付けます。



アンテナ 2 を本体のアンテナ端子②へ取付けます。

 アンテナと本体に付いている「1」と「2」のシールは、アンテナ取付時の目印となりますので剥がさないでください。

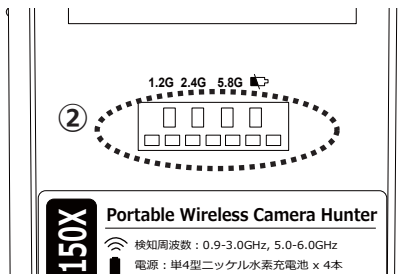
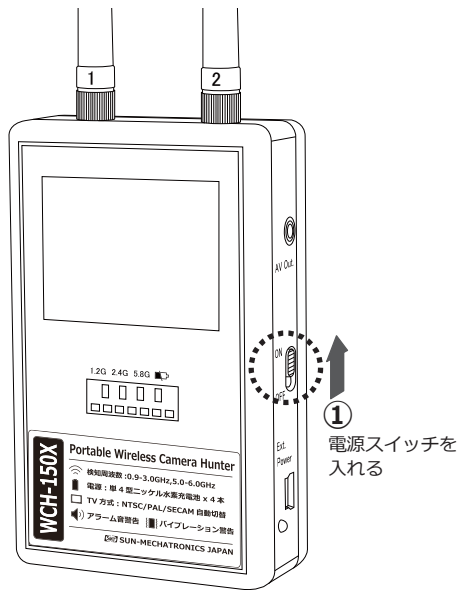
■ 盗撮電波を受信する

充電とアンテナの取付が完了したら、実際に使ってみましょう。以下手順に沿って操作してください。

1. 本体の電源スイッチを「ON」にします(①)。電源が入り、自動でスキャンを開始します。
2. スキャンを開始すると、本体のスキャン帯域表示 LED と、スキャンロックステータスメーター LED (②) が作動します。
3. 盗撮電波が無い場合は、画面には何も映りません。その場合は、1.2GHz から 5.8GHz 帯域のスキャンを繰り返します。盗撮電波が存在しない場合、約 20 秒で検知帯域を 1 周します。

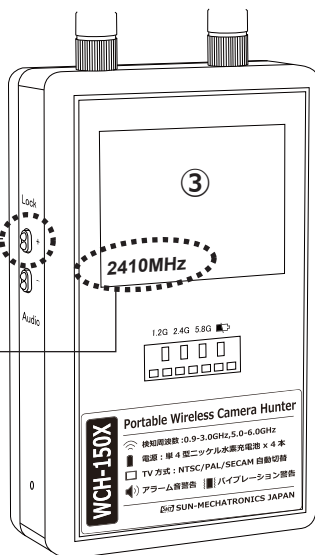
※映像や音声の信号を含まない無変調の電波を受信した時、反応が出る事がありますが製品の異常ではありません。

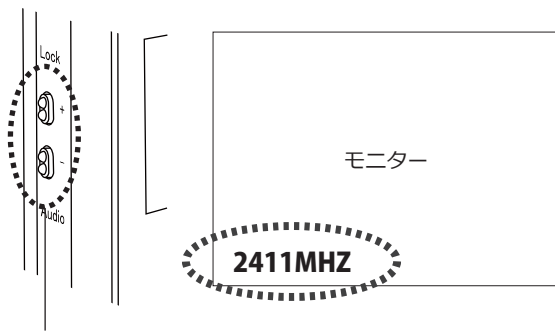
4. 盗撮電波を受信すると、モニターに映像と受信周波数が表示されます(③)。映像が表示されたら、本体左側面のプラスボタンを長押ししてスキャンをロックします(④)。ロックすると映像の表示を保持します。モニターを良く確認し、映る画像から自宅や職場の映像か否かを判断します。受信映像の内容から、室内のどの辺にカメラが設置されているか推測する事が出来ます。映像がハッキリしない場合は、次ページ「5」の手順でチューニングを行ってください。



④ プラスボタンを長押ししてスキャンをロックする

受信周波数

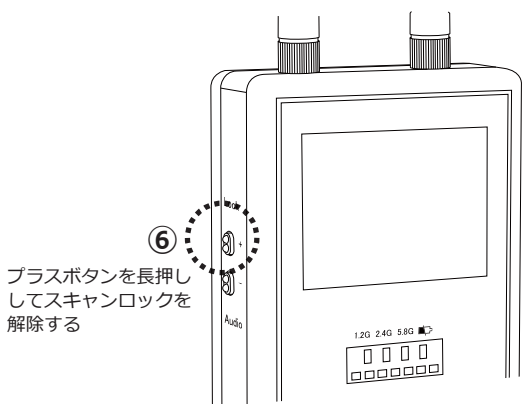




- ⑤ プラス、マイナスボタンを押して受信周波数を調整する

5. スキャンをロックした状態で、本体側面のプラスボタン、またはマイナスボタンを短押しして受信周波数のチューニングが出来ます (⑤)。一度押す毎に 1MHz 動きますので、映像が一番ハッキリ映る周波数に調整してください。

※WCH-150X は受信機ではありません。
テレビなどと異なり、必ずしも綺麗な映像を表示しない場合があります。カメラのスペックによっては、モノクロで映る場合もありますが、製品の異常ではありません。



- ⑥ プラスボタンを長押ししてスキャンロックを解除する

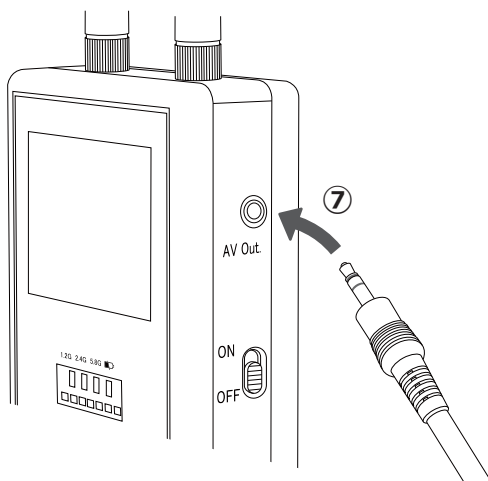
6. スキャンロックを解除する場合は、再度プラスボタンを長押ししてロックを解除してください (⑥)。ロックが解除されると、スキャン帯域表示 LED とスキャンロックステータスメーター LED が作動し、スキャンを再開します。

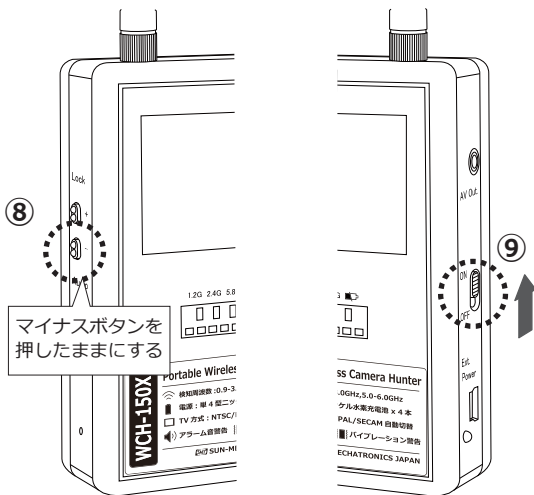
■映像を出力する

受信した映像を外部モニターへ出力する事が出来ます。

本体右側面の AV 出力端子へ、付属の AV ケーブルの $\phi 3.5\text{mm}$ ステレオミニプラグ側を挿し込みます (⑦)。次にもう一方の黄色と赤のプラグを外部モニターへ接続します。同梱ケーブルでは黄色が映像、赤が音声となっています。

※カメラ側に搭載されるマイクの性能により音声ノイズが入る事がありますが、WCH-150X の異常ではありません。音声ノイズが気になる場合は、モニターの音量を下げてください。





⑧ マイナスボタンを押したままにする



■ 警告モード設定

WCH-150X の警告モードには以下 3 パターンがあります。

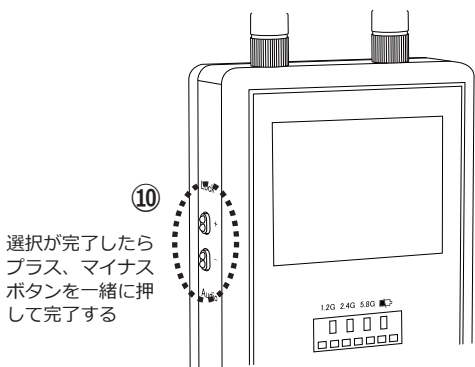
1. アラーム音とバイブレーション
2. バイブレーションのみ
3. アラーム音のみ

以下手順で警告モードを変更する事が出来ます。

1. 本体の電源を切った状態にします。
2. 本体左側面のマイナスボタンを押したまま (⑧)、もう片方の手で電源スイッチをオンにします (⑨)。
3. スキャン帯域表示ランプとスキャンロックステータスメーターが点灯し、警告モードの変更が可能となります。

4. マイナスボタンを短押しすると「アラーム音 + バイブ」→「バイブのみ」→「アラーム音のみ」の順番で切り替わります。

例えばアラーム音に設定する場合は、マイナスボタンを押して、「アラーム音のみ」が作動したところで操作をストップします。その状態で、プラスボタンとマイナスボタンを同時に押して確定します (⑩)。



⑩ 選択が完了したらプラス、マイナスボタンを一緒に押して完了する

■ 音声復調機能

受信した盗撮カメラの電波に音声信号が含まれていた場合、WCH-150X の音声復調機能を使用して復調する事が出来ます。

1. 本体を外部モニターに接続します。
2. 本体側面のマイナスボタンを長押しします。「ピッ」と音が鳴り、WCH-150X のモニターに「2410MHz L」、または「2410MHz R」が表示されます。
3. どちらかを選択し、音声が届く方にセットしてください。この際、カメラ側のマイクの性能によってはノイズが入る場合があります。また、カメラ側にマイクが搭載されていない場合、音声は聞こえません。この場合もノイズが入る場合がありますが、機器の異常ではありません。

※WCH-150X は盗撮電波の受信（映像の受信）に主眼を置いた機械です。音声受信機ではありませんので、ご理解いただいた上でお使い下さいますようお願い致します。

WCH-150X 製品仕様

製品名	WCH-150X
液晶	2.5 インチ LCD
検知範囲	0.9GHz ~ 3.0GHz、5.0GHz ~ 6.0GHz
映像方式	NTSC / PAL / SECAM 自動切替
警告方式	アラーム音、バイブレーション（共に電波受信時に作動） 「アラームのみ」、「バイブレーションのみ」、「両方」の切替が可能
周波数スキャン	オート / マニュアル（マニュアル時は 1MHz 単位で調整が可能）
アンテナ	アンテナ 1(0.9GHz ~ 3.0GHz)、アンテナ 2(5.0GHz ~ 6.0GHz)※1
アンテナ端子	SMA-J 型 インピーダンス 50Ω
電源	単 4 形ニッケル水素充電電池（1.2V / 800mAh）x 4 本 ※2
電池寿命	50 分程度（充電後、スキャン状態で放置）※3
充電時間	5 時間程度 ※4
入出力端子	映像出力端子、USB 入力端子（充電用）
外寸 / 重さ	本体：119(H) x 71(W) x 33(D)mm（アンテナ接続時 H190mm） アンテナ：φ10mm x 75mm 重量：240 g（アンテナ、充電電池装着時）
製品構成	WCH-150X 本体、アンテナ 2 本、単 4 形ニッケル水素充電電池 4 本、 USB ケーブル（充電用）、USB AC アダプター、AV ケーブル

- ※1 アンテナに付いている番号シールを剥がさないでください。
- ※2 エネループなど、他ブランドのニッケル水素充電電池もご利用頂けます。それらを使用する際はそれぞれの取扱説明書をよくお読みになりお使い下さい。ブランドによって容量が異なりますので、電池寿命が変化する場合があります。乾電池はお使いいただけません。
- ※3 おおよその駆動時間となります。電波受信状況により変化します。
- ※4 充電したまま放置する事は絶対にお止めください。WCH-150X の充電機構には、「完了時 LED オフ」の様な機能がありません。開始時間を確認し、充電時間経過後 AC アダプターから取り外してください。
- ※5 本製品は映像伝送システムにあるような映像受信機ではありません。本製品は盗撮電波を検知し、その設置場所を特定する為の物です。ご理解いただいた上でお使い頂けます様お願い致します。
- ※6 本製品は有線式の盗撮カメラには対応しておりません。有線式カメラの発見には、光学式盗撮発見機「SCH-70」をお勧め致します。
- ※7 本体の改造、分解はお止めください。それらに起因する故障は、保証対象外となり有償修理となります。機器が受けたダメージによっては、修理が出来ない場合があります。
- ※8 本製品の仕様は予告なく変更になる場合があります。

製品の仕様及びデザインは改良のため予告なく変更される場合があります。

商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に製品添付の「取扱説明書」、「発見機注意事項書」を必ずお読みください。